

アフィリエイト広告

アフィリエイト広告とは

アフィリエイト広告とは、別名「成功報酬型広告」といいます。アフィリエイトは広告をクリックしただけでは広告費が発生しません。ユーザーがその広告から商品を購入(あるいは資料請求)をした場合のみに広告費が発生します。



アフィリエイト広告とは

広告主



高いお金を払ってテレビCMや雑誌に広告を出しても必ず商品が売れるとは限らない。
しかし、アフィリエイト広告なら売れた時にだけ利用料が発生するので無駄な広告費がかからない

ASP



広告主とメディア運営者(アフィリエイト)を繋ぎます！

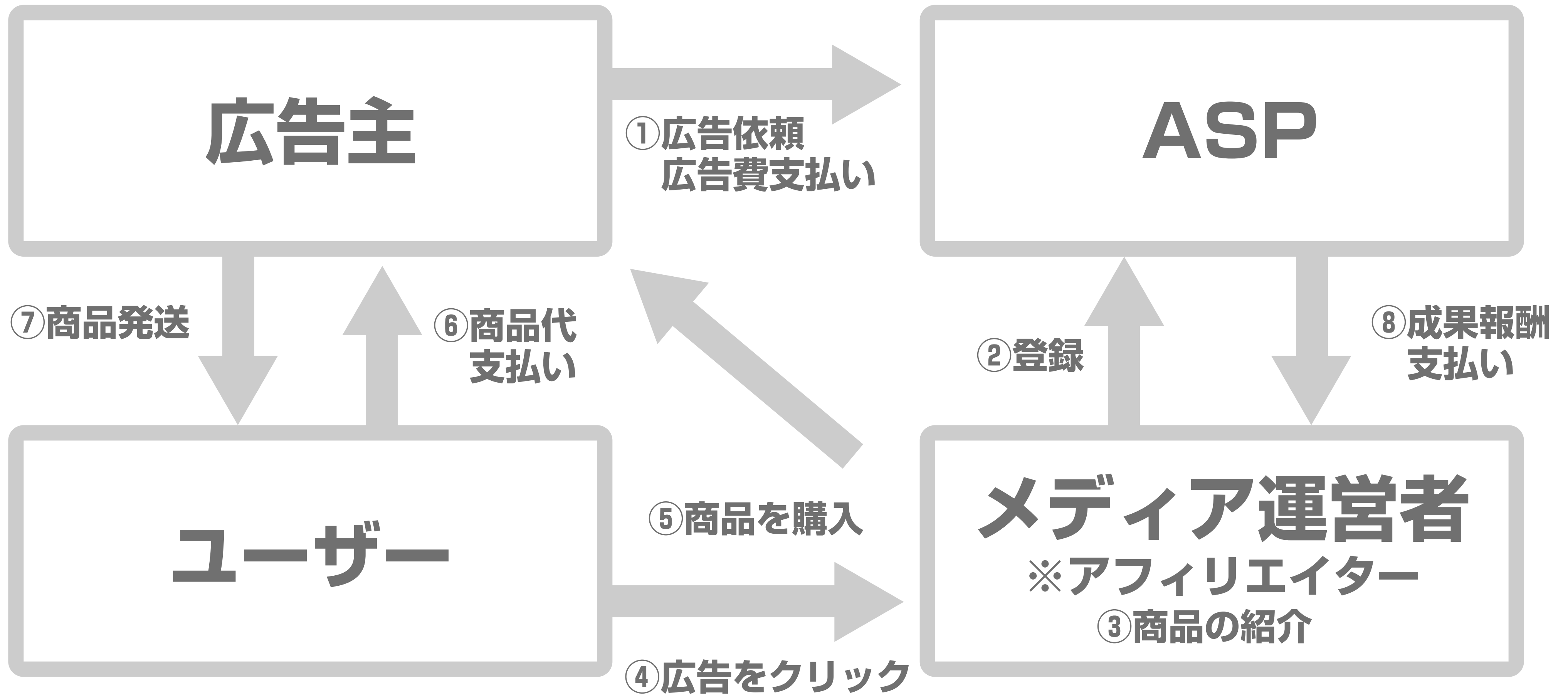
メディア運営者



自分の好きな商品を紹介して、売れた場合に指定額の報酬が手に入る。
在庫の心配(仕入れリスク)がないから商品やサービスを紹介しやすい。

アフィリエイト広告とは

アフィリエイトには「広告主」「ASP」「メディア運営者」「ユーザー」の4者がかかわっています。



アフィリエイト広告利用料金

各種ASPによって利用料金は異なりますが、多くのASPが
初期費用・月額費用ともに5万円前後、成果手数料が30%前後となっています。



アフィリエイト広告のメリット

- 集客の負担がかからない
- 第三者に営業活動を行ってもらえる
- 幅広いメディアでのプロモーションが実現できる
- 費用対効果が高い

アフィリエイト広告のデメリット

- 広告がメディアに掲載されない可能性がある
- ASPに利用コストが発生する
- ミスマッチなサイトに掲載される可能性がある
- 記事の内容がコントロールできない

タイヤアップ広告

タイアップ広告とは

広告主がインフルエンサーや企業メディアなどと提携して制作する広告のことを指します。記事メディアの場合は、記事形式の広告、動画メディアの場合は動画形式の広告など、そのメディアで提携している形式と同じフォーマットで広告を作成します。そのため、**普段から対象のメディアに触れているユーザーとの親和性が高く、商品の特徴や魅力を深く追求することができます。**

今回は以下の3つの種類のタイアップ広告について紹介します。

- ・ 記事タイアップ広告
- ・ SNSタイアップ広告
- ・ 動画タイアップ広告

記事タイアップ広告とは

記事タイアップ広告は、雑誌や新聞でも見受けられる「記事広告」をウェブの記事で展開する広告です。文章と画像を中心に構成されるウェブメディアの記事の制作をメディア側に依頼して、日時を指定の上メディア内に掲載します。

記事タイアップ広告は、文字数や画像の制限がなく、広告主やメディアが伝えたい内容を豊富に盛り込むことができます。制作したコンテンツの修正も容易なので、その時々に応じたメッセージをウェブメディアの読者に伝えることができます。

企業メディアや個人ブログを含め、日本中には無数のメディアが運営されており、その中には高い「専門性」と「熱心(コア)な読者」を抱えたメディアも多く存在するため、**単にメディアの規模だけでタイアップ先を選ぶのではなく、メディアが持つ個性や独自性を知った上で出稿を考えることが大切です。**

規模の小さい個人メディアのほうが企業運営のメディアよりも大きな広告効果を生むようなケースも起こりえます。



SNSタイアップ広告とは

SNSタイアップ広告は**インフルエンサーや企業アカウント等と提携し、広告コンテンツをSNSに投稿してもらった広告形式**です。SNSのユーザーの投稿と同じ形式で広告を出稿できるので、自然な形で商品をアピールできます。また、リツイートやいいねでユーザーからの反応が返って来たり、そこからの拡散も見込めます。

SNSタイアップ広告は、投稿者の影響力を超えて情報が拡散していくことが期待できます。

また、**商品認知度を増やしたり、流行感を出せるのもSNSタイアップ広告の特徴**です。発売初日に複数のインフルエンサーにその商品について投稿してもらおうといった手法もよく見られます。

その他、タイアップ広告は他の媒体でのタイアップ広告に比べて広告コンテンツの制作にかかる時間が比較的短期間ですむことが多く、短納期で出稿ができます。

F1層と呼ばれる若年女性の関心が強い商品（コスメや日用品）などの商材はSNSタイアップ広告との親和性が高いと言えるでしょう。



動画タイアップ広告とは

動画をシェアできるプラットフォームとしてはTwitter,Instagram,TikTok等がありますが、動画タイアップの現在の主流はYoutubeとなります。

Youtubeを利用した動画タイアップ広告が優れている点は、視聴者の年齢が幅広く、全年齢に訴求できることです。記事コンテンツやSNSと異なり「ながら見」などで受動的に情報を取得することができます。視聴のハードルが低く気軽に情報に触れられる媒体です。

商材と相性の良いチャンネルを見つけることができれば、どの年齢のターゲットにもアプローチが可能となる汎用性の高いプラットフォームと言えます。

動画タイアップ広告の実施手順

- ① 案件相談
- ② 企画内容決定
- ③ 制作・修正
- ④ 公開
- ⑤ 拡散
- ⑥ レポート



タイアップ広告のメリット

- ユーザーに信用されやすい
- これまでリーチできなかった層に発信できる
- 依頼先メディアの認知度や信頼が使える
- 第三者に商品について語ってもらう価値
- コンテンツが残るのでブランドの資産になる

タイヤアップ広告のデメリット

- コストがかかる
- 「PR記事」と記載する必要がある
- ステマにならないように気をつける

以上!

**いろいろな
インターネット広告の紹介でした**

FAQ

いただいた質問にお答えしていきます

Q1

WordPressの基本的な特徴、メリット・デメリットについてです。それ以外では、今（これから）の時代にふさわしいオウンドメディアは？も知りたいところです。

※富田さんから頂きました

Q1:answer

Wordpressについては長くなってしまいうのでまた後日講座を開かせていただきます！

これからの時代にふさわしいオウンドメディアは、**ユーザーの悩みを解決に導くメディア**だと思います。

Q2

ズブの素人は、
何から勉強したらいいですか？

※蝶名林(ちょうなばし)さんから頂きました

Q2:answer

何をしたいかにもよると思いますが、自分の商品を広告で宣伝したいなら、インターネット広告の勉強。自分でWebメディアを作りたいなら、WordPress等のCMSの勉強と、SEOとオウンドメディアの研究。自分でゼロからサイトを作れるようになりたいのであればHTML,CSSの勉強。かなと思います！

詳しい人や、自分の理想像に近い人々にすすんで会いに行って色々聞いてみるのも良いと思います。

Q3

- ①新規でweb（ホームページ）を作成するにあたり、何かから着手すれば良いか？（web・ホームページ作成を業者依頼する場合）また、依頼する側として、準備しておかなくと、いけない項目を教えてください。
- ②内容（ボリューム）などにより異なると思いますが、web作成費用は？
- ③web（ホームページ）作成するにあたり、注意点と心構え？

※小林さんから頂きました

Q3:answer

- ①ホームページの目的を考えます。目的に合わせて見せ方(デザイン)を相談して決めていきましょう。ホームページを自分で管理するのであればドメインとレンタルサーバーを用意する。あと、掲載するコンテンツの用意も必要です。
- ②「webサイト制作費用」で検索すると相場感が出てくるので参考にしてくださいませ。
- ③注意点は①をやらずに作り始めないことです。

Q3:answer

ホームページ制作 費用・料金の相場一覧 <https://www.lab-ry-works.com/blog/?p=243>

サイトの種類	ページ数	金額	備考
企業サイト (小規模)	10ページ	400,000円～	企業理念や企業のサービスなどの最小限の情報を公開するサイトを想定しています。小規模サイトの場合、お知らせなどの更新頻度も低い事を想定し、CMSなどの更新システムは導入せず、都度htmlを更新する方が、コストパフォーマンスが良い場合があります。但し、サイト内の掲載情報量が少ないとSEO的に有利に働きづらいこともあるため、SEOで上位表示を狙いたい場合はCMSの導入も検討する必要があるかもしれません。
企業サイト (中規模)	30ページ	800,000円～	小規模サイトに対して、Wordpressを導入し、お知らせなどをCMSで更新できるようにすることを前提に、企業サービスの情報も深めに紹介することで、よりユーザーの理解を高める事を想定します。採用情報などもしっかりと掲載していくことで、自社のサービス訴求だけでなく、リクルートとしても活用することができます。但し、採用情報コンテンツを拡充していくと社員へのインタビューや撮影なども必要になってくるため、想定よりも費用が高くなる場合もあるので注意が必要です。
企業サイト (大規模)	80ページ	1,500,000円～	大規模サイトになると更新頻度も高くなりやすいのでCMSで更新することがコスト削減のポイントになりやすくなります。大規模サイトの場合は、作る事以外にも、情報をまとめたり、整理したりするのも費用が発生しやすく、出来る限り余計なコストを発生させないためには、必要な情報を速やかに制作会社に提供できるような準備をしておくことがポイントになります。膨大な情報をどのように訴求すべきかなど、高い戦略性も求められるため、依頼する制作会社のディレクターの技術も問われるようになります。
飲食店サイト	30ページ	500,000円～	飲食店サイトの場合はある程度ページのレイアウトがパターン化されやすいため、企業サイトに比べると安くなる可能性があります。但し、ページレイアウトなどがテンプレート化できず、1ページ毎にデザインの検討が必要なサイトになる場合は費用がグッと上がる可能性があります。飲食店の場合は、写真撮影が非常に重要となります。スマホなどで簡易的に済ませるのではなく、プロのカメラマンにしっかりと撮影してもらう事を想定して費用感の組み立てを行うことが重要です。さらにメニューの変更などが激しいようなお店はCMSを導入することで自身でメニューの更新ができるようにし、サイト更新コストを抑えられるように検討する必要があります。
教室・ スクールサイト	15ページ	500,000円～	教室・スクールサイトの場合、その内容によって写真が多く必要になったり、サービスの説明が煩雑になりやすく、情報の取りまとめ方が重要になります。体験入学などにどのように参加させるかなど戦略的な要素も重要になるため、しっかりと戦略面も相談していきながら制作していくことをお勧めします。
ECサイト (ネットショップ)	30ページ	3,000,000円～	ECサイトの場合は、どのようなECショップシステムを利用するかによっても金額が大きく変わってきます。ECキューブなどのプラットフォームを利用した場合でも、デザインや要件定義などを含めると300万円が最安値となる場合が多いです。しっかりと要件を明確にすることで費用を抑えることができますが、プラットフォームを利用したECサイトの構築はそれなりに費用がかかりますし、プラットフォームの使用せずにゼロからオリジナルのECシステムを作り上げたいという事になれば1000万円以上することも少なくありません。どうしても安価にECサイトをスタートさせたい場合は、BASEやカラーミーなどのネットショップ作成サービスを利用すれば、数万円程度で構築することも可能です。但し、あくまでECサイト構築サービスを利用するだけなので、月額利用料が発生する事と、できる事にも制限があり、自由なネットショップ運用を行うのは難しいと言えます。
ランディングページ (ネット広告用LP)	1ページ	250,000円～	ネット広告などの遷移先の受けページ(ランディングページ)で一般的には、1ページの長いページを指します。内容によってページの長さも異なるのでページ内に掲載される内容によって費用感が変わってくるケースがあります。昨今ではマンガを取り入れたりしながら、広告からそれほど関心がなかったユーザーでも楽しんで情報を読み進められるような工夫なども見られますが、本相場の中には漫画のライティングなどの費用は含まれていないため注意が必要です。

以上!

ご清聴ありがとうございました